

自然学習講座

テーマ：水元公園ナイトウォッチング

日時：令和7年7月26日、8月2日、8月9日(各土)

18時30分から20時30分まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：各回30人

受付開始：令和7年6月12日(木)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和7年6月25日(水)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであれば懐中電灯をご持参ください。
※ 小学生以下は保護者同伴。



セミの幼虫やコウモリ、カエルなどに活動する生きものを観察します。

イベント・ガイドウォーク

小学生の夏休み自由研究シリーズ

7月30日、8月6日(各水)
①9:30~11:30
②13:00~15:00

自由研究の進め方を学びます。7月30日は野草を使ったスプレー作り、8月6日は野蚕(クワコ)の繭から糸取りを行います。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

(金61系統)

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和7年 6月20日

(通算第219号)

水元小合溜の生きもの:209

アリグモ

クモ目ハエトリグモ科

全長 ♂8~9mm

♀7~8mm

時期 6~8月(冬は幼体が見られる)

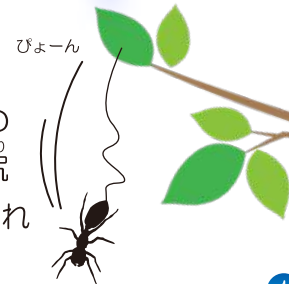
文字通り『アリ』みたいな『クモ』

アリによく似たハエトリグモの一種です。クモの仲間のため肢は8本ありますが、前2本をまるでアリの触角のように見せかけることでアリに擬態しています。天敵の少ないアリに似ることによって身を守っているようです。



いざという時はバンジージャンプ!

アリグモは植物の葉や枝などを徘徊し、ハエやガなどの小昆虫を食べます。網は張りませんが、移動中常にお尻から糸を出しており(しおり糸)、外敵から逃げる時はそれを命綱の様にして飛び降り、ゆっくり着地します。



発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



5/30 アササ 5月下旬頃から水上に黄色い花を咲かせる。トンボなどが葉にとまって休憩する様子も見られる。



5/30 ガクアジサイ 水元かわせみの里やグリーンプラザ周辺などで見られる。雨の後、花についた水滴が輝いていた。



5/30 クロイトトンボ 川の流れがゆるやかな場所を好む。キャンプ広場～水生植物園の近くでよく見られる。



5/30 チョウトンボ 蝶のようにひらひらと飛び。空に近い枝先や開けた場所に伸びた葉先に止まることが多い。



5/30 セグロアシナガバチ 花の近くでよく見られる。攻撃性は低いが、巣に近づいたり触ると刺されるので注意。



5/30 コアジサシ 水元大橋周辺で見られる。水面に浮いたお気に入りのフイで休んでいる姿もよく見られる。



5/30 オオヨシキリ 水辺ゾーンなどのヨシ原で見られる。「ギョギョシ!」と大声で鳴く。



6/12 タイサンボク ポプラ並木と中央広場の間に数本見られる。大きくて白い花が咲くと、周囲に芳香が漏れる。



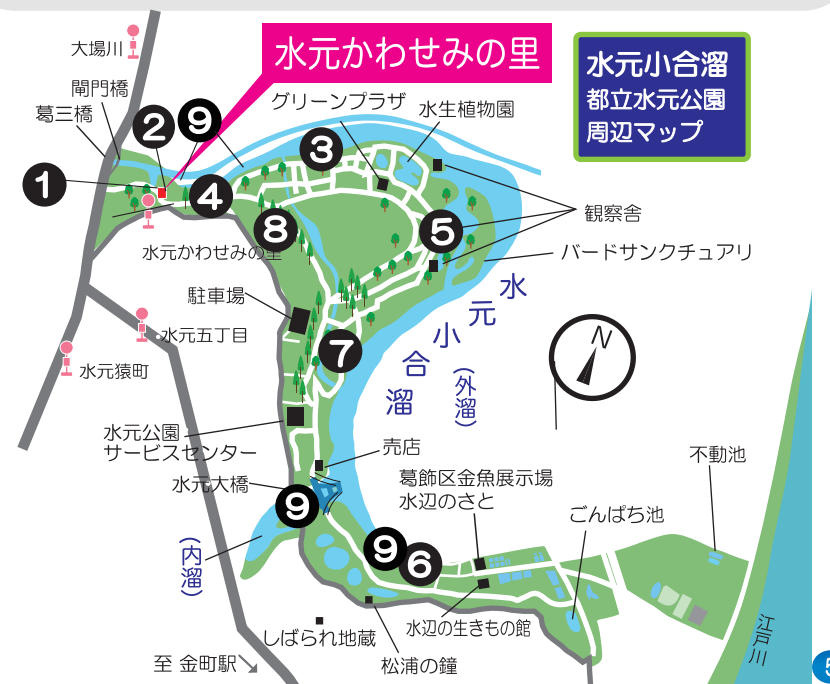
6/12 スイレン 葉と葉の間からそっと顔を出して咲く。花粉を多く出すため、花粉が好きなハチなどがよく訪れる。

専門員コラム 「綺麗だからでは済まない外来種」のお話

水元公園に揺蕩う広大な溜池「水元小合溜」。この時期、小合溜に咲くスレイン（**9**）やキショウブなど、鮮やかで可憐な花は夏の酷暑でもひと時の涼を与えてくれます。しかし、この花たちが咲く中で、実は多くの生きものが強い悪影響を受けています。

この2種はいずれも『重点対策外来種』に指定されている外来種です。水元かわせみの里の近くで広がるスイレンは、数年前はさほど繁茂していませんでした。しかし年々増殖し、今や水面のほとんどを覆っています。スイレンはこの高い繁殖力で太陽光を独占し、他の水草を枯らしてしまうといいます。キショウブもまた地下茎で増えて水辺を占拠し、他の植物を追いやります。そして水流で種を運び、別の場所で株を増やします。このように、高い繁殖力を持つ一種の生きものが環境を支配してしまうと、その生きものと繋がりのある生きものの以外がその環境で暮らせなくなるなど環境に悪影響があります。しかし、見た目の綺麗さゆえか、その悪影響を意識する方は多くないように思います。

キショウブもスイレンも綺麗な花を咲かせる素敵な水草です。しかし、あくまで観賞のために導入された植物であり、自然下においてよいものではありません。自然の生きものたちが持つ、綺麗以外の様々な価値を知ってもらいたいと思います。（野間）



ボランティア活動報告

ボランティア研修会で、小石川植物園の見学に行きました！

5月22日に今年度最初のボランティア研修として、東京都文京区にある小石川植物園の見学を行いました。小石川植物園の歴史ある植物や史跡について、専門員が解説しながら植物園を巡り、植物の管理方法や植物分類などについて学んでいただきました。



小石川植物園の本館です。東京大学大学院に属する、植物の研究施設でもあります。



足元に生えているコゴメイヌノフグリを観察する様子。



ラクウショウの気根について解説する様子



樹齢300年と言われるクスノキに触れ、大きさを体感するボランティアさん。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 6月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

6月の見頃

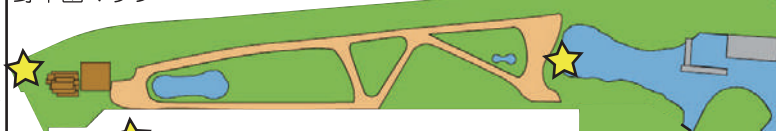
コシアキトンボ

水元公園で最も多く見られるトンボの一種です。未成熟個体は木や建物に囲まれた空間を好むため、野草園でよく見られます。成熟した雄は黒い腹部に一部白い帯模様があり、腰の部分が空いているように見えることからコシアキトンボ(腰空蜻蛉)と名付けられました。雨の日には、葉っぱにぶら下がって休憩する様子が観察できます。



オス

野草園マップ



見られるポイントはココ！